

花と木の実践養成教室

令和2年8月25日（火）

バラの栽培管理

バラは紀元前12世紀ごろには、すでに古代ペルシャで栽培されていたといわれ、人類にもっともなじみ深い植物の一つです。薬用、香料植物として利用され始め、やがて観賞用としても栽培されるようになり、園芸植物として発展していきました。特に中国や日本のバラがヨーロッパに紹介された18世紀後半ごろから、バラの育種は飛躍的な発展を遂げ、現代バラの誕生へとつながっていきます。

バラ科バラ属に属する植物で、3分類4系統に分けられます。

バラの分類

原種・野生種
ワイルドローズ

オールドローズ

現代バラ
モダンローズ

系 統

ハイブリッドティ(HT)

フロリバンダ(F)

つるバラ(CL)

ミニバラ(Min)

大輪種

房咲き中輪種

つる状の枝で長く伸びる

小輪種

**バラを知ることが、
上手く育てる為には必要です！**

**風通しと日当たりの良い場所を好みます。
また、生育に適した温度は20℃前後で、7℃以下になると生育
を休止し、4℃以下になると休眠に入ります。
また、27℃を超すと生育が悪くなります。**

**排水性・保水性・保肥力のある土が良く、一度利用した土だけで
植え付けると連作障害(いや地)を起こします。
また、バラは定期的に肥料を必要とし、3月・6月・9月・12月に
適量を施します。**

元気な花を咲かせる為に 剪定をします！

- 春の花を咲かせる為の剪定(1月～2月)
系統によって異なりますが、剪定前の樹高の $1/2 \sim 1/3$ くらいの外芽の上で剪定します。
- 整枝・咲き柄切り(5月下旬～6月上旬)
今年伸びた枝の長さ半分くらいの所で切ります。
- 秋の花を咲かせる為の剪定(9月上旬)
10月下旬頃に咲く花が美しいので、この時期に剪定します。
(剪定後45日～50日で開花)
剪定前の高さ $2/3$ くらいに切ります。

バラは病害虫が多く発生します！

日本の温暖な気候では、バラの生育期間が長く、病害虫が多く発生します。その為には、年間を通してきめ細かく的確な病害虫対策が必要となります。

バラに合った環境づくり

バラを健康に育てる

適切な薬剤の予防散布

病害虫の早期発見、早期対策

今年2月に接ぎ木した苗ですが、右の苗は葉の色も良く順調です。
しかし、左の苗は葉が黄ばんで元気がありません。これは、根詰りで生育不良を起こしています。根が詰まると肥料を施しても吸収できなくて、養分が土の中に留まるのが原因です。
また、気温が高くなるのも養分をあまり必要としなくなるので控えます。





剪定前の高さの
2/3くらいに切ります！
(9月上旬)



剪定が終わりました。品種によって異なりますが、40～50日後に開花します。また、秋の花を美しく咲かせるために、肥料(N・P・K)を同比率で、7号鉢で有機肥料20g位与えます。



6月23日に挿し木したアジサイと株分けしたベゴニアの
植え替えを行います。

アジサイ(左)



ベゴニア(右)





4号のフタ鉢に水はけ
を良くするために鉢底
石を2cm位入れます。



ウォーター
スペース



鉢の上部にウォーター
スペースを2cm位あ
けて植えつけます。



**3号ポット(直径9cm)
に植え替えます。**



3週間くらいで、鉢いっぱい根が回るので花壇などに植え付けます。